

夜間における蛾類の集団吸蜜例

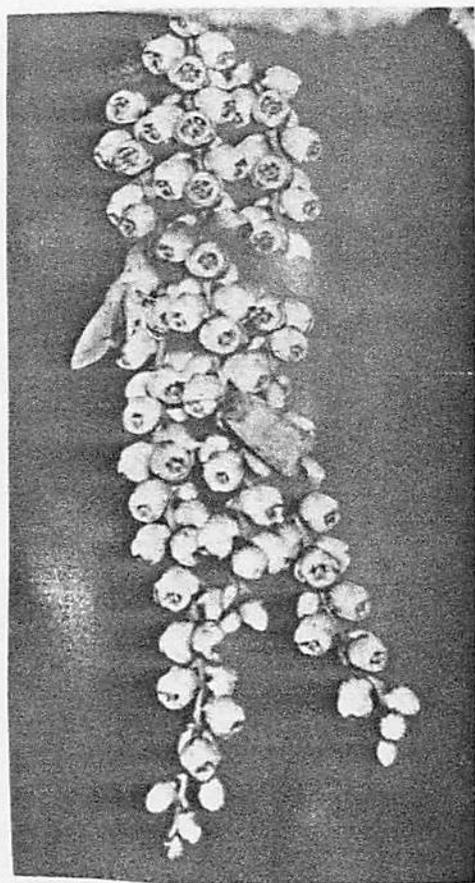
登 日 邦 明

1974年3月31日、淡路島南部の洲本市上灘中津川で蛾類の燈火採集を実施した際、偶然の機会から、燈火採集地点から800mあまり隔った場所で、キブシ *Stachyrus praecox* Sieb. et Zucc. の花に吸蜜している蛾の群を発見した。

詳細に観察すると樹高2.5mあまりのキブシの花(穂状花序)に、クロテンキリガ *Orthosia fausta* Leechをはじめ数種類の蛾が、1~3頭の割合で吸蜜しているのが認められた。プタ

ンガスランプを近付けると、一部の蛾は翅を閉じたまま地面に落下した後、飛び去った。それから30分あまりの間にも、数頭の蛾が飛来し、吸蜜を開始するのが観察できた。その後、プタガスランプを近付け、落下する蛾類を可能な限りネットで採集したが、全体の6割あまりの71頭しか採集できなかった。採集品を整理してみると下記のListのようであった。ヤガ科はすべてキリガの仲間、クロテンキリガがその大部分を占め、シャクガ科は3種9頭を見出したが、すべて♀であった。トガリバガ科のものも1種認められた。この結果から、午後11時30分すぎにこの1.5mあまりの空間に咲くキブシの花に吸蜜のために飛来していた蛾類の総数は100頭を上回っていたものと推測される。これは、同日燈火採集で得た蛾類12頭に比較するまでもなく、おどろくべき数である。

従来、蛾類の吸蜜活動の観察例としては、昼間あるいは夕刻に訪花する一部の種類のもの知られていたが、夜間の集団吸蜜活動の観察例は知られていないようなので記録しておきたい。



キブシ (*Stachyrus praecox* Sieb. et Zucc.) の花で吸蜜するカバキリガ(左)とクロテンキリガ(右)

今後、夜間に草・木本を問わず、各種の花を詳細に調査することにより、蛾類の吸蜜活動は次第に明らかにされるものと思う。同学諸兄の協力をお願いしたい。

キブシの花で得た蛾類の List

NOCTUIDAE

1. *Orthosia limbata* Butler シロヘリキリガ 2♀
2. *Orthosia evanida* Butler カバキリガ 1♀
3. *Orthosia odiosa* Butler チャイロキリガ 2♂ 1♀
4. *Orthosia fausta* Leech クロテンキリガ 26♂ 30♀

GEOMETRIDAE

5. *Pachyligia dolosa* Butler アトジロエダシヤク 1♀
6. *Descoreba simplex* Butler ハスオビエダシヤク 3♀
7. *Planociampa antipala* Prout ヒロバトガリエダシヤク 5♀

THYATIRIDAE

8. *Demopsestis punctigera* Butler ホシボシトガリバ 1♂